

※2023年5月2日～2025年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	フェハリー フェリペ FERRARI FELIPE		職名	特任准教授 博士(文学)	
専門分野	哲学・比較思想				
所属学会	ブラジル全国哲学大学院会 ANPOF、名古屋大学哲学会、中部哲学会、日本哲学会、比較思想学会、西田哲学会、欧州日本哲学会 ENOJP、国際日本哲学会 IAJP、ラテンアメリカ多文化思想学会 ALAFI				
担当科目	哲学概論、公共哲学、社会思想史、ポルトガル語、基礎演習、専門演習				
<b>I 教育活動</b>					
教育実践上の主な業績		概 要			
1.教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		グローバルな社会の舞台に立つことができるために、外国語の文法能力のみではなく、外国語で自分の意見を考え、他人に自分で考えたことを伝える自信をもつ必要があります。授業では学生を、教育、文化、社会、哲学、宗教、倫理、技術などの様々な現代的な問題を考えさせ、ディスカッションを行う。 特に哲学においては、過去・現代を問わず、同じ問題が異なった形で出て来ている。授業では古代ギリシャ以降 2500 年以上にもおよぶ哲学 (philosophia) の根本的な問題を様々な哲学者の立場から明らかにし、哲学の立場から現在社会の問題を考えさせる。現代社会において、外国人に対応できるような言語習得の関心が、高まっている。そのため授業では、外国語の基礎知識と運用能力を養成する。あわせて国人に対する理解を深めるために、同言語圏の社会、歴史、習慣など背景知識についても学び、異文化受容の態度を育む。			
2.作成した教科書、教材、参考書		重松由美、瀧藤千恵美、Felipe Ferrari『ブラジル・ポルトガル語を話そう！ 改訂版』、朝日出版社、2020年			
3.教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4.その他教育活動上特記すべき事項		ブラジル教育省文学高等学校教員免許状 ブラジル教育省により哲学・文学教員免許 免許証番号：UNICAMP-498266			
<b>II 研究活動</b>					
著書					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
<i>Tetsugaku - International Journal of the Philosophical Association of Japan, Vol.8</i>	共著	2024年12月	The Philosophical Association of Japan	村上祐子、神島裕子、中野 裕考、白川晋太郎、上原麻有子、Felipe Ferrari	全頁
<i>Textos escolhidos: Lugar, Eu e Tu e Autoidentidade e continuidade do mundo</i>	共著	2024年12月	Editora Phi	Antonio F. Neto, Douglas F. Barros	裏表紙
<i>Nishida Kitarō: Zettai Mujunteki Jikodōitsu</i>	共著	2025年5月	Nanzan Library of Japanese Philosophy	Enrico Fongaro, Steve G. Lofts, Matthew D. McMullen and Jacynthe Tremblay	257-296 頁

論文				
西田哲学会祭二十一回年次大会報告	単著	2023年11月	西田哲学会：『西田哲学会会報第21号』（全頁）	全頁
翻訳				
<i>Autoidentidade absolutamente contraditória</i>	単独	2025年5月	<i>Nishida Kitarō: Zettai Mujunteki Jikodōitsu</i> , Nanzan Library of Japanese Philosophy	257-296頁
学会発表				
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等	
Consciousness as a milieu homogène: a dialogue between Space and Place in Bergson and Nishida	単独	2023年9月	欧州日本哲学会第七回大会（コーク、アイルランド）	
“Basho” before Basho: The genesis of the topology of Nishida Kitarō	単独	2023年9月	International Society of East Asian Philosophy – 3rd Conference（エディンバラ、スコットランド）	
「日本哲学と翻訳」	共同	2024年1月	南山宗教文化研究所「日本宗教・日本哲学と翻訳」研究会（名古屋市）	
Nishitani Keiji's Religious (Re)Quest	共同	2024年5月	南山宗教文化研究所 Nishitani Keiji Workshop on the Philosophy of Religion Third Session – Nishitani Keiji: “Nietzsche's Zarathustra and Meister Eckhart”（名古屋市）	
The colonized colonizer: Nihonism as a form of Fascism in Tosaka Jun's <i>The Japanese Ideology</i>	共同	2024年8月	III ALAFI International Congress of Intercultural Philosophy（サンパウロ、ブラジル）	
Defining (and defying) East and West: Japanese Philosophy in Noda Matao's <i>The three traditions of Philosophy</i>	単独	2024年9月	欧州日本哲学会第八回大会（ターリン、エストニア）	
外部資金				
資金名	助成期間		課題名等	
株式会社アルカディア	2024年7月～ 2025年12月		研究助成金	
大阪大学 グローバル日本学教育研究拠点	2021年1月～ 2023年12月		都学派およびポスト京都学派における科学哲学および技術哲学研究	
Ⅲ 社会における主な活動				
学会活動				
2010年3月～現在に至る	Brazilian National Association of Graduate Studies in Philosophy ANPOF			
2012年3月～現在に至る	名古屋大学哲学会			
2012年3月～現在に至る	中部哲学会			
2013年3月～現在に至る	日本哲学会			
2014年6月～現在に至る	比較思想学会			

2014年3月～現在に至る	西田哲学会
2016年6月～現在に至る	European Network of Japanese Philosophy ENOJP
2016年6月～現在に至る	International Association of Japanese Philosophy IAJP
2018年8月～現在に至る	Latin-American Association of Inter-Cultural Thought ALAFI
<b>役員・委員等</b>	
2014年12月～現在に至る	欧州日本哲学会 ENOJP (委員)
2018年6月～現在に至る	西田哲学会 (幹事)
2018年8月～現在に至る	Latin-American Association of Inter-Cultural Thought ALAFI (幹事)
2024年9月～現在に至る	日本哲学会 (編集委員会)
<b>講演等</b>	
2024年8月	“Journey to the West: The Three Traditions of Philosophy and the Birth of <i>Tetsugaku</i> ” First Unicamp-Yokkaichi Meeting on History of Philosophy (カンピナス、ブラジル)
2024年9月	“Academic Life in Japan” CEL, Unicamp (カンピナス、ブラジル)